



ホスピタリティの味

2月17日(月), 寒さの中にも陽射しの温かさを感じながら, 悠遊会のみなさんと『やきいも作り』の活動を行いました。①午前中, 5・6年生が家庭科室へ運んだサツマイモを, 学年毎に新聞紙・ホイルで包みました。コンテナに入れたイモを, 5年生が公民館へ運びました。②公民館横の広場で, 悠遊会のみなさんが火をおこし, おき(赤くおこった炭火)をつくり, イモを焼かれました。③イモが焼けたとの知らせを受け, 1年生から順にいただきにきました。『お世話になります。ありがとうございます。いただきます』と元気な挨拶が広場に響きました。④学年毎にシートに座り, 焼きたてのイモの皮をむき, さあ, いただきます。⑤ホクホクのお芋をいただき, お腹も心もポカポカになりました。⑥作業を終えられたみなさん



さんが, お芋片手に6年生と談笑されているのが何より心に残りました。

「遊びでしょうけんな」と会長さんはおっしゃいますが, 200個あまりの芋の

用意, そして水洗い, 薪集めなどの準備から芋焼き, 片付けまでホスピタリティにあふれるものでした。

小規模校の勤務で気になってきたのはこれです。個人差はありますが至れり尽くせり(になりがち)の児童の生活。ですが, 多様化・国際化していく社会に出て行く時に重要となるホスピタリティ(思いやりやもてなしの心)は育てられているのかと。学友との遊び方だけでなく, 他人との挨拶, TPOに応じた言葉遣い, 使った物や場所の整頓や清掃..., していただいて嬉しかったことが“できる人”に育てたいものです。



※ 明日は13:50~6年生を送る会(公開), 15:00~PTA総会です。多くのお皆様のご来校をお待ちしています。会場は体育館です。暖かくしておいでください。